

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
 《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
 礼儀正しく思いやりのある児童
 《体》心身ともに健康で、命を大切にする児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
 学校だより 第717号
 令和6年12月24日

児童の心のケアについて

上戸小学校長 山岸 修

能登半島地震の発災以来、珠洲市の学校では、心のケアを大切にしてきました。本校も同様です。

地震後、学校を再開したのは令和6年1月15日(月)でした。始業式を3階理科室で行いました。登校した児童は全校児童23名中10名。リモートで参加した児童が7名。体調不良で欠席が2名。家の都合で欠席した児童が1名。市外に出て、リモートにも参加できなかつた児童が1名。市外の小学校に体験入学している児童が1名。という状況でした。地震によって心理的にストレスを受けている児童が、多くいると推測できました。

始業式では「まず、みんなが元気でいることが大事」ということ。それだけで、周りの人たちが、とても力づけられるということ。次に、3学期はまとめの学期。そして、(2023年)11月にした保健委員会の集会で勉強したように「相談」を大事にしてほしいこと。こまつたり、つらかつたりしたら、一人でかかえこまづに、誰にでも話してほしいことを話しました。

本校で児童の心のケアとして取り組んでいるのは、以下です。

1. 健康チェック(児童アンケート)
2. SC(スクールカウンセラー)の活用
 - (1)児童・教職員・保護者との面談
 - (2)心のサポート授業
 - (3)心の授業
3. 教職員との面談
 - (1)担任の先生との面談
 - (2)担任以外の先生との面談(上戸っ子面談)
4. 教職員の研修

健康チェックは、児童に以下のようなアンケートを実施します。

		ない	1・2日ある	3~5日ある	ほとんど毎日ある
1	なかなか眠れないことがある				
2	寝ていてもすぐ目が覚める				
3	イライラしたり、おこりっぽくなったりしている				
4	怖くて落ち着かないことがある				
5	頭が痛くなることがある				
6	おなかが痛くなることがある				
7	ごはんが、おいしくないし、食べたくないことがある				
8	便が出ないことがある。				
9	何もやる気ができないことがある				

10	勉強に集中できないことがある				
11	友達と遊んだり、話したりすることが楽しい				

このようなアンケートを昨年度は1か月に1回、今年度は学期に1回行いました。アンケート結果は、職員やスクールカウンセラー(以下 SC)と共有するようにしています。

SCは2月以降、だいたい週1回のペースで文科省と県教育委員会から派遣され、来校していただいています。

SCには、まず、児童との面談をしてもらいました。力のあるSCの方ばかりで、初対面の児童とも上手にコミュニケーションをとり、児童からたくさん会話をひきだしていましたようでした。SCからは、「たくさん自分のことを話してくれました。」と聞くことが多かったです。SCには児童だけでなく、教職員や保護者とも面談していただきました。

SCには、児童に対して授業もしてもらっています。一つは心のサポート授業です。主に心に強いストレスがかかった場合の対処法についての授業をします。

心の授業は、主に「構成的グループエンカウンター(SGE)」の活動をします。SGEは、本音と本音の交流や感情交流ができる親密な人間関係づくりを援助するための手法です。この授業にも、子ども達はいつも熱中して楽しそうに活動しています。

校長として、心のケアを大切にするために、担任の先生方には、月に1回以上、担任する児童との面談を行うようお願いしました。4月からこれまで、毎月行われています。また、上戸小では、昨年度から「上戸っ子面談」というのも行なってきました。これは、担任の先生以外の先生と行う面談です。この面談は学期に1回行っています。年に3回ありますが、毎回、違う先生と行ないます。

教職員は、「災害後の子供たちのこころのケア教職員研修」という県教育委員会指定の研修を学期に1回受けています。

この研修で教職員は、東日本大震災時等の児童に実際に起こった反応等から、今後予測される児童の反応や、またそれに対してどのように対応していくべき等について学んでいます。

これを書いている12月中旬は、もうすぐやつてくる1月1日(1周年)に向けて「アニバーサリー反応」(大きな出来事・つらい出来事から1週間、1ヶ月、1年など、節目節目の時に、感情が大きく揺れること)への対応をしています。保護者に向けて文書で周知したり、子ども達に授業を行ったりしています。

上戸小学校では、今後も「心のケア」を大切にしていきます。

なわとび集会 12月5日

約1か月間、この日に向けて長休みや体育の時間に練習しました。縦割り班の対抗戦で、短縄の部から始まりましたが、抜きつ抜かれつの接戦で、長縄で逆転が起こりました。すばらしい集会でした。最後に全校で跳ぶ8の字とびの記録をとりました。



児童集会 12月18日



石川県PTA優良PTA賞 受賞

本校PTAの長年にわたる活動が高く評価され、県PTAより表彰を受けました。



白山市ジュニア文芸賞奨励学校賞 受賞

俳句教室を中心とした全校をあげての俳句作りが高く評価され、表彰を受けました。



【市子ども習字展】

入選 1年 吉森 晴	2年 角野 晴隆
3年 川端 純怜	4年 吾郷 梨愛奈
5年 谷内口 優月	6年 徳力 海来

【市子ども美術展】

入選 1年 加藤 優宗	2年 吾郷 友梨奈
3年 寺下 蓮輝	4年 紺谷 洋斗
5年 三上 逢海	6年 徳力 海来

【市読書感想画コンクール】

入選 2年 吾郷 友梨奈	3年 川端 純怜	鷺 初叶	三上 寛太
5年 福田 彩蓮	谷内口 優月		
6年 家根 大翔	徳力 海来		

【県児童硬筆書写作品コンクール】

会長賞 3年 吉森 心
入選 3年 鷺 初叶

千代女少年少女全国俳句大会

入選

ばすけっと あせでぼーるが にげていく 雨上がり 山から海に にじかかる	1年 吉森 晴
ひるがおが はま一面に さいている 三メートルの ひまわりぼくの 休けい場	2年 吾郷 友梨奈
小川のホタル かわいいおしりが 星になる	3年 川端 純怜
太陽の 光り輝く プールかな	3年 三上 寛太
大空へ ふわりふわりと しゃぼん玉	5年 三上 逢海
	5年 福田 彩蓮
	5年 谷内口 優月

読売新聞 KODOMO 俳壇

まつたけ派? 僕はなめこ派 負けないぞ	6年 家根 大翔
---------------------	----------

北国俳壇

秀作

じきゅうそう がんばりあせが 光ってる 秋まつり キリコにのって おおはしゃぎ	2年 吾郷 友梨奈
じきゅう走 秋の野道を かけ回る	2年 柚 みづめ
秋の空 明るく澄んで 元気出る	3年 三上 寛太
新米は 父さんの味 最高だ	4年 吾郷 梨愛奈
きつつきや 木をコンコン たたく音	5年 谷内口 優月
	5年 福田 彩蓮

佳作

秋の空 すべてが光って かがやくよ おちばをね ふんでサクサク きょうそうだ	2年 角野 晴隆
	2年 三上 咲良

1月 行事予定

8日(水)	・3学期始業式、書初め大会
9日(木)	・ゴールデンタイム(百人一首)
10日(金)	・心の授業(3・4年生)川原SC ・PTA役員会・学年委員合同会議
13日(月)	祝日:成人の日
14日(火)	・全校朝会 ・国語検定
15日(水)	・算数検定 ・委員会
16日(木)	・ゴールデンタイム(百人一首)
17日(金)	・百人一首大会 ・学校運営協議会
20日(月)	・オーケストラアンサンブル金沢による音楽会
21日(火)	・児童朝会
22日(水)	・クラブ
24日(金)	・俳句教室
30日(木)	・計画訪問②
31日(金)	・授業参観・学級懇談会・中学校入学説明会

1年生

なわとび集会の感想

きょうは、なわとびしゅうかいをしました。かけあしとびとまえとびと8の字とびをしました。いちばんたのしかったのは、かけあしとびです。8の字とびはまけて、くやしかったです。青はんがまけたので、つぎにやるときはかちたいです。

(一宮 美月)

ぼくは、あかはんと青はんにわかれてなわとびしゅうかいをしました。ふつうのなわとびをするときはまけたけれど、8の字とびをするときは、かってうれしかったです。さいしょはまけていたけれど、さいごはかってうれしかったです。

(加藤 優宗)

ぼくは、なわとびしゅうかいでまえとびをがんばりました。かけあしとびもがんばりました。みんなのこともおうえんしました。8の字とびもがんばりました。

(中野 秀有司)

ぼくは、なわとびしゅうかいをしました。どきどきしたけれど、がんばってやりました。まけたけれど、おもしろかったです。もう1かいやりたいです。

(吉森 晴)



2年生

わたし・ぼくは〇〇

わたしは、ふでばこです。毎日えんぴつさんとけしゴムさんと楽しくあそんでいます。ふでばこをおとしたときは、すっごくいたいです。でも、ふでばこの中のせいりをしてくれるので、毎日すっきりしてすごしています。

(吾郷 友梨奈)

わたしは、うちばきです。いつもすずはさんがよごれたときにあらってくれるから気持ちがいいし、きれいになるからうれしいです。もっとだいじにして、きれいにしてほしいです。わたしも、すずはさんが、けがをしないようにまもるね。

(角 珠々葉)

わたしは、けんばんハーモニカです。音楽のときや、月・水・金の昼はけんばんハーモニカのれんしゅうでつかわれています。色は、青色です。つかわれている時はたいへんで、つかわれていないときは、リラックスできます。

(三上 咲良)

ぼくは、本です。たまにだれかに読まれます。ほぼ毎日たなでごします。たなからおちた時は、いたかったです。たまにきつくなってしまいます。今日、晴たかがぼくをかりました。うれしかったです。

(角野 晴隆)

わたしは、けしゴムです。たまに、ふでばこからおちます。みんなが、けしゴムを毎日つかっていたらなくなってしまいます。その時、けしかすじやなくて、赤ちゃんが生まれます。でも、いつかはすてられます。かなしいです。

(柚 みつめ)



3・4年生

SDGs 合同学習会の感想 「WOTA 株式会社の話を聞いて」

水をリサイクルして、また使えるようにしているとは知らなかつたから知れてよかったです。よごれを食べてきれいにする微生物がいるなんておどろきました。

(川端 純怜)

100Lで100人がシャワーを浴びることができるし、水道がないところで水が使えるということがおどろきました。実験をしていた人が「難しい。」と言っていたけど、わたしもやってみたいと思いました。

(鷺 初叶)

水を人が作った機械でリサイクルしてまた使えるようにしていることがすごいと思いました。微生物が水の中の汚いものを食べてくれると知ってうれしくなりました。

(三上 寛太)

不思議だと思ったのは、20000人が水に困っていることです。WOTAの機械では、98%水をリサイクルできるとわかりました。

(寺下 蓮輝)

水の汚れを処理してくれる微生物がいたので驚きました。実験を見ているとバーベキュー用の網を使ってビーズを取り出す人が多いとわかりました。

(中野 煌有司)

水をリサイクルして使っている所がすごいと思いました。災害があつても災害にあつた人が困らないようにしているところがいいなと思いました。

(吉森 心)

学校にあった「WOTA」の機械は、水を使ってもまたきれいにして使えるのがすごいと思いました。微生物が汚れを食べてくれることを知り、びっくりしました。

(吾郷 梨愛奈)

みんなに水を届けるために水の中のものを取りのぞいてきれいにすることで、みんなが安心して使えることが分かりました。自分も水を大切に使っていきたいと思いました。

(紺谷 洋斗)

5・6年生

SDGs 合同学習会の感想 「WOTA 株式会社の話を聞いて」

いろいろなことを経験して水の大切さが分かりました。だから、これからは、節水を心がけて、水を大切にしたいと思いました。

(加須屋 依里)

私が、今日のSDGs学習会で思ったことは、水は人間が生きていく上で必ず必要だということです。水がないとお風呂にも入れないし、顔をあらうことだってできません。だから、水は大切に使わなければならないと思いました。

(三上 逢海)

水を取り出す実験がおもしろそうでした。わたしは実際に実験をしていないけれど、考えたことをピンと手を挙げて発言することができました。自分の考えを伝えることができて、とても気持ちがよかったです。

(福田 彩蓮)

学習会で学んだことは、水は有限で再利用するのが大変だということです。実験から、「普通に水だけを取り出すのも難しいのに、細菌等を取り出すのは、もっと難しいな。」と感じました。

(谷内口 優月)

水をきれいにすることは簡単なことだと思っていました。けれど、WOTAの方の話を聞いたり実際にやってみたりして、水をきれいにすることはとても難しいことだと知りました。

(家根 大翔)

SDGs学習で頑張ったことは、2つあります。1つ目は、代表で前に出て実験をしたことです。とても難しい実験だけど意外にできました。2つ目は、たくさん質問したことです。水のことが学べました。(徳力 海来)